

## 受益者の皆さまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「MSCIインデックス・セレクト・ファンド コクサイ・ポートフォリオ」は、このたび、第19期の決算を行いました。

当ファンドは日本を除く世界各国の株式（DR（預託証券）およびカントリーファンドを含みます。）を実質的な主要投資対象とし、投資信託財産の長期的な成長を図ることを目的として、積極的な運用を行いました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



MSCIインデックス・  
セレクト・ファンド  
コクサイ・ポートフォリオ  
追加型投信／海外／株式／インデックス型



第19期末（2016年11月21日）	
基準価額	17,940円
純資産総額	2,080百万円
第19期	
騰落率	△8.6%
分配金（税込み）合計	0円

(注) 騰落率は分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書（全体版）に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、インベスコ・アセット・マネジメント株式会社のホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。
- 運用報告書（全体版）は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書（全体版）の閲覧・ダウンロード方法>  
右記<お問い合わせ先>のホームページにアクセスし、「ファンド一覧」等から運用報告書（全体版）を閲覧およびダウンロードすることができます。

## 交付運用報告書

第19期

（決算日 2016年11月21日）

作成対象期間（2015年11月20日～2016年11月21日）

## インベスコ・アセット・マネジメント

東京都港区六本木六丁目10番1号六本木ヒルズ森タワー14階

<お問い合わせ先>

お問い合わせダイヤル：(03)6447-3100  
（受付時間：毎営業日の午前9時から午後5時）

ホームページ <http://www.invesco.co.jp/>

## 運用経過

## 期中の基準価額等の推移

(2015年11月20日～2016年11月21日)



期首：19,620円

期末：17,940円 (既払分配金 (税込み)：0円)

騰落率：△8.6% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額およびMSC I コクサイ・インデックス (円換算ベース) は、期首 (2015年11月19日) の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) ベンチマークはMSC I コクサイ・インデックス (円換算ベース) です。ベンチマークの詳細は11ページをご参照ください。

## ○基準価額の主な変動要因

## [上昇要因]

- ・日本を除く世界各国の株式 (DR (預託証券) およびカントリーファンドを含みます。以下同じです。) を実質的な主要投資対象としているため、米国、カナダ、英国などの株式市場が上昇したことが、基準価額の上昇要因となりました。

## [下落要因]

- ・ドイツ、フランス、イタリアなどの株式市場が下落したことが、基準価額の下落要因となりました。
- ・実質外貨建資産の対円での為替ヘッジを行わなかったため、実質組入外貨建資産の通貨である米ドル、ユーロ、英ポンドなど、全ての主要通貨が対円で下落したことが、基準価額の下落要因となりました。

## 1万口当たりの費用明細

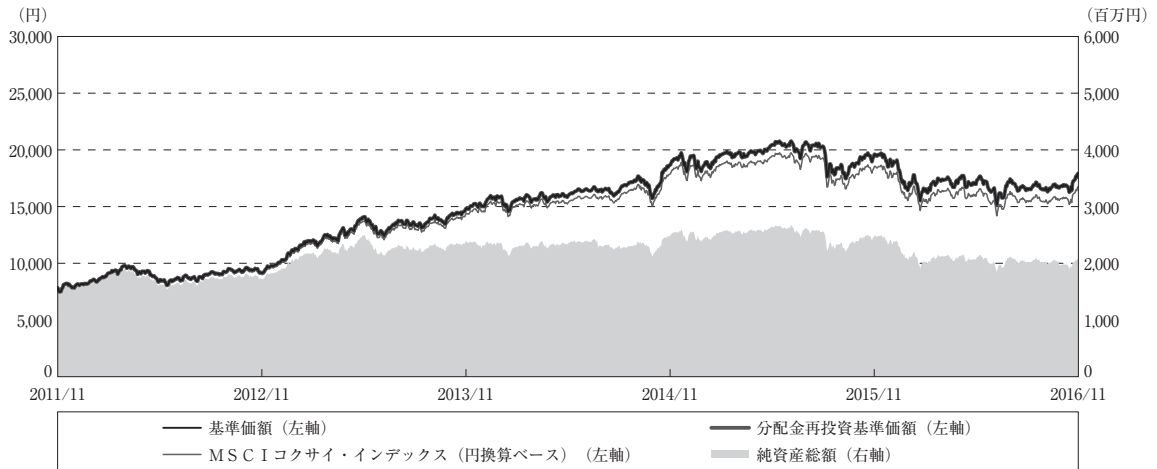
(2015年11月20日～2016年11月21日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬 ( 投 信 会 社 ) ( 販 売 会 社 ) ( 受 託 会 社 )	円 170 ( 76 ) ( 76 ) ( 19 )	% 0.977 (0.434) (0.434) (0.109)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等の対価 購入後の情報提供、運用報告書等各种資料の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価 ファンドの財産の保管・管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料 ( 株 式 ) ( 投 資 信 託 証 券 ) ( 先 物 ・ オ プ シ ョ ン )	2 ( 1 ) ( 0 ) ( 1 )	0.010 (0.003) (0.000) (0.007)	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有 価 証 券 取 引 税 ( 株 式 ) ( 投 資 信 託 証 券 )	1 ( 1 ) ( 0 )	0.004 (0.004) (0.000)	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) そ の 他 費 用 ( 保 管 費 用 ) ( 監 査 費 用 ) ( 印 刷 費 用 ) ( そ の 他 )	21 ( 3 ) ( 6 ) ( 11 ) ( 0 )	0.119 (0.016) (0.037) (0.064) (0.002)	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人に支払うファンドの監査に係る費用 印刷費用は、目論見書や運用報告書等の法定書類の作成・印刷に要する費用等 その他は、外国有価証券に係る税金および信託事務の処理に要するその他の費用等
合 計	194	1.110	
期中の平均基準価額は、17,393円です。			

- (注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。  
(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。  
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。  
(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第4位を四捨五入してあります。

## 最近5年間の基準価額等の推移

(2011年11月21日～2016年11月21日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額およびMSCIコクサイ・インデックス(円換算ベース)は、2011年11月21日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2011年11月21日 決算日	2012年11月19日 決算日	2013年11月19日 決算日	2014年11月19日 決算日	2015年11月19日 決算日	2016年11月21日 決算日
基準価額 (円)	7,846	9,235	14,799	18,867	19,620	17,940
期間分配金合計(税込み) (円)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	17.7	60.2	27.5	4.0	△8.6
MSCIコクサイ・インデックス(円換算ベース)騰落率 (%)	—	15.7	58.2	25.9	2.6	△9.8
純資産総額 (百万円)	1,561	1,730	2,367	2,511	2,487	2,080

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
- (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。
- (注) ベンチマークはMSCIコクサイ・インデックス(円換算ベース)です。ベンチマークの詳細は11ページをご参照ください。

## 投資環境

(2015年11月20日～2016年11月21日)

S & P 500指数 (米国)	+5.6%	FTSE 100指数 (イギリス)	+7.1%
DAX指数 (ドイツ)	△3.6%	CAC 40指数 (フランス)	△7.8%
米ドル/円	110円95銭 (前期末123円56銭)	ユーロ/円	117円64銭 (前期末131円90銭)

※株価指数の騰落率は当期末時点 (対前期末比)、米ドル/円およびユーロ/円は当期末の数値です。

### ＜米国株式市場＞

米国株式市場は、期初から2016年2月中旬までは、原油安の進行や中国経済の成長鈍化懸念などから大きく下落しました。しかし3月には、雇用や住宅関連の経済指標が良好な数値となったことや良好な企業決算が好感されたことから、株価は反発しました。6月には、英国の国民投票で市場の予想に反して同国の欧州連合(EU)離脱(ブレグジット)が決定したことから、投資家のリスク回避姿勢が強まり、株価が急落する局面もありました。しかし、①ブレグジットに対する投資家の過度な悲観が後退したこと、②雇用統計をはじめとした米国の主要経済指標が堅調となったこと一などから株価は反発しました。8月以降は、米国大統領選挙や米連邦準備理事会(FRB)の利上げをめぐり投資家の見方が交錯したことなどから、一進一退での推移が続きました。11月に行われた大統領選挙では事前予想に反してトランプ候補が次期大統領に決定しましたが、株式市場が急落するとの事前予想に反し、トランプ氏が掲げる減税やインフラ整備などの政策が米国景気を押し上げるとの期待から株価は大幅な上昇に転じ、期末を迎えました。

### ＜欧州株式市場＞

欧州株式市場は、期初から2016年2月中旬までは原油をはじめとした資源安や中国経済の先行き不透明感が足かせとなり、下落して推移しました。3月に欧州中央銀行(ECB)が追加緩和に踏み切ると株式市場も安定を取り戻しましたが、①6月下旬に英国の国民投票を控えた不透明感や事前の予想に反してEU離脱が決定したこと、②9月以降のイタリアやドイツの主要銀行の経営不安一などが足かせとなり、ドイツなどの大陸欧州の株式市場は米国市場の上昇に追従できずに一進一退を繰り返し、前期末を下回る水準で期末を迎えました。一方、英国の株式市場は、ブレグジット決定後に進んだ英ポンド安や金融緩和などが好感され、大きく上昇しました。

### ＜アジア株式市場＞

アジアの先進国株式市場(除く日本)は国ごとにまちまちな展開となる局面があったものの、期を通じては上昇しました。期の前半は、原油安や一部経済指標が軟調となったことなどを受け下落したものの、2016年6月以降は①資源価格の回復、②中国政府が積極的な財政政策を実施する方針を示したこと、③中国大陸と香港間の市場間株式相互取引の拡大一などが好感され、前期末を上回る水準で期末を迎えました。

### ＜為替市場＞

期初1米ドル123円台でスタートした米ドル/円レートは、2016年1月末に日本銀行がマイナス金利導入の発表をしたにもかかわらず、①米国や中国の経済成長鈍化への懸念、②ブレグジット決定を受けた投資家によるリスク回避姿勢の強まり一から6月には一時99円台をつけるまで円高が進みました。しかし、①雇用や賃金の伸びといった米国の雇用統計が堅調に推移していることなどを背景にFRBによる年内の利上げ観測が強まったこと、②米国大統領選挙で勝利したトランプ次期大統領による財政支出の拡大期待一を背景に米ドルは上昇に転じ、結局期末には110円台となりました。

期初131円台だったユーロは、①ECBが積極的な金融緩和策を継続したこと、②2016年6月のブレグジット決定に伴うリスク回避の売り一などを背景に下落し、7月には112円を割り込む水準となりました。その後は、金融緩和策の限界が意識されたことや市場予想を上回るマクロ経済指標の発表より景気の底打ちが確認され、117円台で期末を迎えました。

## 当ファンドのポートフォリオ

(2015年11月20日～2016年11月21日)

主として、MSC I コクサイ・インデックス・マザーファンド（以下、マザーファンドといいます。）に投資を行い、マザーファンドを通じて、日本を除く世界各国の株式に投資を行いました。また、実質外貨建資産の投資にあたっては、為替ヘッジは行いませんでした。

マザーファンドでは、主として日本を除く世界各国の株式を投資対象とし、MSC I コクサイ・インデックス（円換算ベース）に連動する投資成果を目指しました。具体的には、ファンド内のキャッシュポジションを低位に保ちながら、保有する銘柄のコーポレートアクション（買収、増資、スピンオフなど）に対応した結果、ほぼベンチマークに連動したパフォーマンスとなりました。

2015年11月末、2016年2月末、5月末、8月末にベンチマーク採用銘柄の入れ替え（Quarterly Index Review）が行われましたが、ファンドでもこれに対応するための売買を行い、ベンチマークへの連動性を維持する運用を行いました。

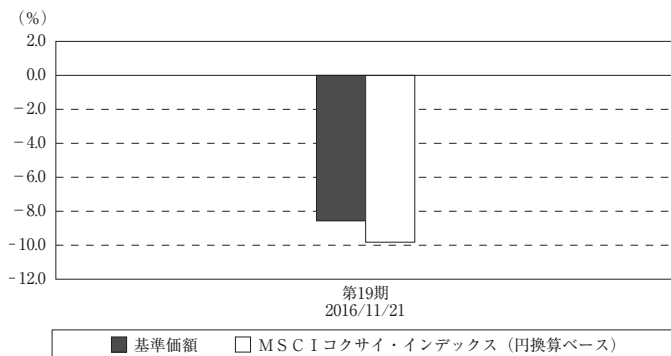
## 当ファンドのベンチマークとの差異

(2015年11月20日～2016年11月21日)

当期の基準価額騰落率は△8.6%となり、ベンチマークであるMSC I コクサイ・インデックス（円換算ベース）の騰落率△9.8%を上回る結果となりました。

一般的に、インデックス・ファンドのパフォーマンスがベンチマークから乖離する要因としては、配当金（プラス要因）、信託報酬（マイナス要因）、取引や管理にかかるコスト（マイナス要因）による要因の他、個別銘柄の組入比率がファンドとベンチマークで若干乖離していることによる要因や、ファンド内でキャッシュを保有していることによる要因などがありますが、当期においては主に配当金の要因によりプラスの乖離となりました。

基準価額とベンチマークの対比（期別騰落率）



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税込み）込みです。

(注) ベンチマークは、MSC I コクサイ・インデックス（円換算ベース）です。ベンチマークの詳細は11ページをご参照ください。

## 分配金

(2015年11月20日～2016年11月21日)

収益分配金につきましては、基準価額水準などを勘案し、当期は見送りとさせて頂きました。収益分配金に充てなかった収益につきましては、投資信託財産に留保して元本部分と同一の運用を行います。

## ○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第19期
	2015年11月20日～ 2016年11月21日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	12,463

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針

主としてマザーファンドに投資を行い、マザーファンドを通じて、日本を除く世界各国の株式に投資を行います。また、実質外貨建資産の投資にあたっては、原則として為替ヘッジは行いません。

マザーファンドでは、主として日本を除く世界各国の株式を投資対象とし、MSC I コクサイ・インデックス(円換算ベース)に連動する投資成果を目指します。インデックス・ファンドの性格に鑑みて、ポートフォリオの最適化に注力してベンチマークとの乖離を極力低くしていきたいと考えています。

## お知らせ

該当事項はございません。

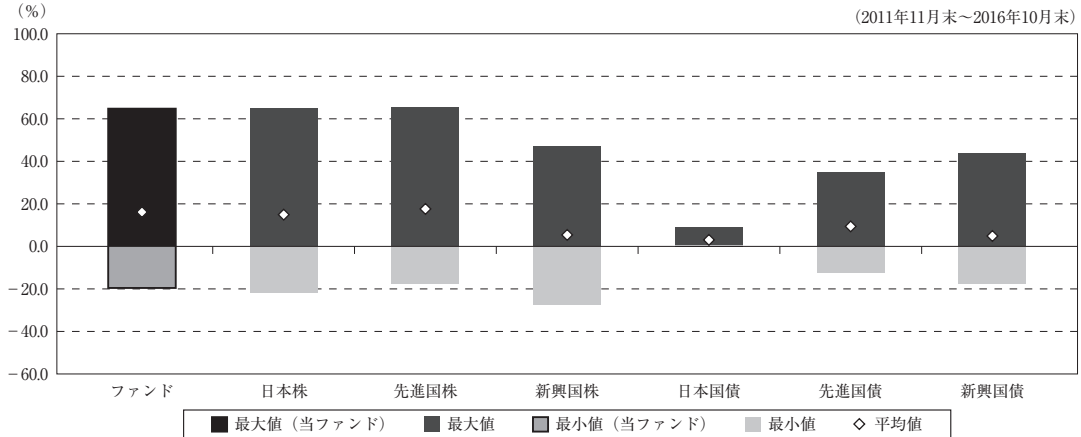
## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／株式／インデックス型	
信託期間	無期限	
運用方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「MSC I コクサイ・インデックス・マザーファンド」受益証券を主要投資対象とし、投資信託財産の長期的な成長を図ることを目的として、積極的な運用を行うことを基本とします。</li> <li>・実質外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</li> </ul>	
主要投資対象	MSC I インデックス・セレクト・ファンド コクサイ・ポートフォリオ	MSC I コクサイ・インデックス・マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	MSC I コクサイ・インデックス・マザーファンド	世界各国の株式（DR（預託証書）およびカントリーファンドを含みます。）を主要投資対象とします。
運用方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主として、マザーファンド受益証券への投資を通じて、日本を除く世界各国の株式に投資します。</li> <li>・グローバルな収益機会を最大限に追求するため、MSC I コクサイ・インデックス（円換算ベース）に連動する投資成果を目指します。</li> </ul>	
分配方針	原則として年1回の毎決算時（11月19日、該当日が休業日の場合は翌営業日）に、委託会社が基準価額の水準等を勘案し、分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は、分配を行わないことがあります。	



## (参考情報)

## ○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位：%)

	ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
平均値	16.2	15.0	17.7	5.4	3.1	9.4	4.9
最大値	64.8	65.0	65.7	47.4	9.3	34.9	43.7
最小値	-19.6	-22.0	-17.5	-27.4	0.5	-12.3	-17.4

(注) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2011年11月から2016年10月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

## 《各資産クラスの指数》

日本株：TOPIX（東証株価指数）（配当込み）

先進国株：MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債：NOMURA - BPI国債

先進国債：シティ世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債：JPモルガンGBI - EMグローバル・ダイバーシファイド（円ベース）

※各指数についての説明は、P11の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

## 当ファンドのデータ

## 組入資産の内容

(2016年11月21日現在)

## ○組入上位ファンド

銘柄名	第19期末
MSC I コクサイ・インデックス・マザーファンド	100.0%
組入銘柄数	1銘柄

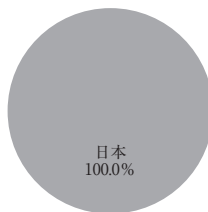
(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

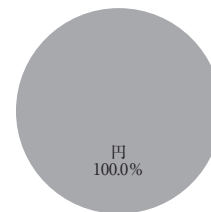
## ○資産別配分



## ○国別配分



## ○通貨別配分



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては、発行体の国籍（所在国）などを表示しております。

## 純資産等

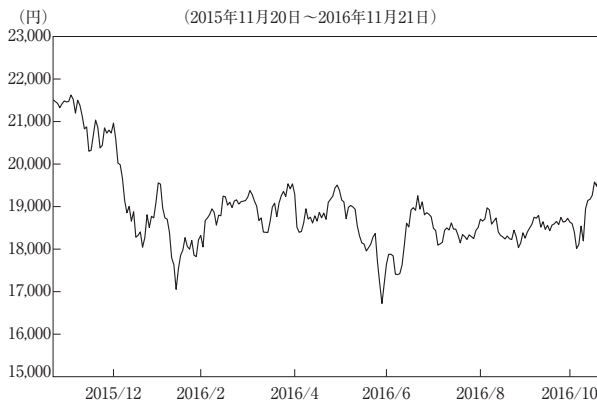
項目	第19期末
	2016年11月21日
純資産総額	2,080,722,032円
受益権総口数	1,159,802,340口
1万口当たり基準価額	17,940円

\* 期中における追加設定元本額は69,046,978円、同解約元本額は177,101,796円です。

## 組入上位ファンドの概要

## MSC I コクサイ・インデックス・マザーファンド

## 【基準価額の推移】



## 【1万口当たりの費用明細】

(2015年11月20日～2016年11月21日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (株資信託証券) (先物・オプション)	2円 (1) (0) (1)	0.011% (0.003) (0.000) (0.007)
(b) 有価証券取引税 (株資信託証券)	1 (1) (0)	0.004 (0.004) (0.000)
(c) その他費用 (保管の費用) (その他)	3 (3) (0)	0.018 (0.016) (0.002)
合計	6	0.033

期中の平均基準価額は、19,169円です。

(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。  
 (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。  
 (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第4位を四捨五入してあります。

## 【組入上位10銘柄】

(2016年11月21日現在)

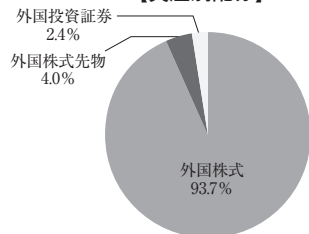
	銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
					%
1	S&P500 EMINI	株式先物(買建)	米ドル	アメリカ	2.7
2	APPLE	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	米ドル	アメリカ	1.9
3	MICROSOFT	ソフトウェア・サービス	米ドル	アメリカ	1.5
4	EXXON MOBIL	エネルギー	米ドル	アメリカ	1.1
5	JOHNSON & JOHNSON	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	米ドル	アメリカ	1.0
6	AMAZON.COM	小売	米ドル	アメリカ	1.0
7	JPMORGAN CHASE & CO	銀行	米ドル	アメリカ	0.9
8	GENERAL ELECTRIC	資本財	米ドル	アメリカ	0.9
9	FACEBOOK-A	ソフトウェア・サービス	米ドル	アメリカ	0.9
10	WELLS FARGO	銀行	米ドル	アメリカ	0.8
	組入銘柄数		1,326銘柄		

(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

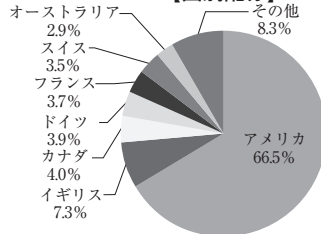
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注) 国(地域)につきましては、発行体の国籍(所在国)などを表示しております。

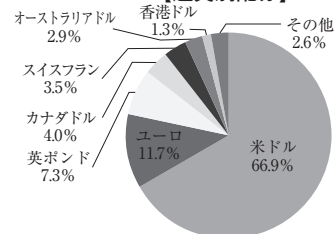
## 【資産別配分】



## 【国別配分】



## 【通貨別配分】



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては、発行体の国籍(所在国)などを表示しております。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書(全体版)をご参照ください。

## ＜当ファンドのベンチマークについて＞

ベンチマークとして、MSCIコクサイ・インデックス（円換算ベース）を使用しています。基準日前営業日の米ドル建て指数を基準日の対顧客電信売買相場仲値を用いて当社が独自に円換算しています。

MSCIコクサイ・インデックスは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、MSCIコクサイ・インデックスに対する著作権及びその他の知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

## ＜代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について＞

### ○TOPIX（東証株価指数）（配当込み）

TOPIXは、東京証券取引所第一部に上場している内国普通株式全銘柄の株価を対象として算出した指数です。TOPIXは、東京証券取引所の知的財産であり、この指数の算出、数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利は、東京証券取引所が有しています。東京証券取引所は、TOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

### ○MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCIコクサイ・インデックスは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、MSCIコクサイ・インデックスに対する著作権及びその他の知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

### ○MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCIエマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、MSCIエマージング・マーケット・インデックスに対する著作権及びその他の知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。なお、円ベース指数については、委託会社がMSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、米ドルベース）に、当日の米ドル為替レート（WM/ロイター値）を乗じて算出しています。

### ○NOMURA - BPI国債

NOMURA - BPI国債は、野村証券株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA - BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村証券株式会社に帰属します。

### ○シティ世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

シティ世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、Citigroup Index LLCが開発した日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数で、著作権、商標権、知的財産権、その他一切の権利は、Citigroup Index LLCに帰属します。

### ○JPモルガンGBI - EMグローバル・ダイバーシファイド（円ベース）

JPモルガンGBI - EMグローバル・ダイバーシファイドは、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。円ベース指数については、委託会社がJPモルガンGBI - EMグローバル・ダイバーシファイド（米ドルベース）に、当日の米ドル為替レート（WM/ロイター値）を乗じて算出しています。

本指数は、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.